



小水力発電所内にある水車と発電機。
矢印の方向に水を通すことで発電ができます。

発電所の概要

水車形式	横軸フランシス水車
使用水量	毎秒 0.69t
最大有効落差	35.4m
最大出力	199kw
総事業費	286,204 千円
工事着工	平成 26 年 9 月
工事完成	平成 28 年 2 月

発電量は？

発電量はダムの水位によって決まります。ダムの水位は約20メートルの変動があります。それに伴い、発電量は105kw、199kwの間で変化しており、年間発電量の見込みは約120万kwhです。一般家庭における1カ月間の消費電力に換算すると、約300世帯分をまかなえる計算になります。

あなたの「エコ」で 作ることができました

町民の皆さまに「分ければ資源、混ぜればただのゴミ」を掲げ、お願いしている家庭ごみの分別と減量によって、ごみ処理に係る経費が削減できています。

その中でも資源ごみの徹底した分別によって、経費の削減だけでなく、収益を得ることもできています。皆さまの取り組みが今回の小水力発電所の建設にも役立っています。

今後も皆さまのご協力を賜りますようお願いいたします。

町長から町民、 ご関係者の皆さまへ

平成21年度から取り組んできました、町営による小水力発電所が2月末に完成いたしました。この発電所は、二川ダム下流の環境維持のために常に放流している毎秒0.7tの放流水が持つエネルギーを利用したもので、発電量は年間約120万kwhを見込んでいます。

この発電所建設にあたり、ダム管理者である県知事および担当部署の方々のもとより、新エネルギー財団さま、関西電力さまおよび資源エネルギー庁さまはじめ、多くの方々のご理解とご協力を受け、完成に至ることができました。ここに改めて御礼申し上げます。

この発電所建設の資金は、町民の皆さまに取り組んでいただいておりますごみ分別、特に資源ごみの徹底したごみ分別によって、経費の削減ができたことで捻出されました。

小水力発電所で得た収益は、ごみ減量のための機器購入や、太陽光・太陽熱利用設備導入への補助



などのほか、新エネルギー普及の教育活動などに充て、住民の皆さまに還元していきたいと考えています。

合併10年の節目の年に、有田川から新たな恵みを授かることができました。今後もごみ減量や再資源化などとともに、再生可能エネルギーの推進を図り、環境問題先進の町に向け、一層取り組みを進めます。住民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。